

新聞

岩木山

発行者 拓光園グループ

総合施設長 木村 めぐみ

弘前市大字百沢字東岩木山2628

電話 0172-96-2331

編集 拓光園新聞係

総合施設長挨拶



～新年を迎えて～

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年4月に職場へ着任し、早いもので9カ月が過ぎようとしています。この間、拓光園グループの現状を見つめ、前代未聞の事件に驚き、社会福祉の動向に注目してきました。

具体的には高齢障害者と言われる方々や自立へ向けた支援の検証、その上でこれからどうあれば良いのかを構想いたしました。今後は実現に向けて中長期計画を策定する事になります。

また、7月に起きた『津久井やまゆり園』事件は、私たち福祉関係者ばかりではなく、日本中を震撼させました。今更言うまでもありませんが、あつてはならない事件でした。

さらに福祉の動向として、「共生社会」をキーワードに、地域ぐるみで福祉を担う方向性が改めて打ち出され、障害福祉と介護保険の統合がいよいよ現実味を帯びてきたとすることができます。

そのような中で拓光園グループに何が出来るかを考えると、私たちの存在意義をかみしめながら役割を全うすること、それは時代で変化するニーズに応えつつ、利用されている一人ひとりときちんと向き合い尊重して支援していくという、木も森も見た仕事をすることに集約されると思います。

今年は5軒目となるグループホームを立ち上げ、さらなる地域生活移行を推進する予定です。また、生産活動にテコ入れを図り、地域の皆様に喜んでいただくことも企画しています。これからも色々なご要望に応えられるよう努めてまいりますので、拓光園グループに対する変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げます。新年を迎えてのご挨拶とさせていただきます。

総合施設長 木村 めぐみ

次長挨拶

新年おめでとうございます。

今年は、酉年です。「酉」という字を調べてみたところ、「酉」はニワトリを意味し、「時告げ鳥」と言われ太陽を迎えてくれる神聖なものとして考えられていたそうです。また、「酉」の由来には、「果実が成熟の極限に達した状態」を表しているという説があるとも書かれていました。

拓光園グループに照らして考えた時に、まさに平成29年はこのような年にしなければなりません。七峰会理念に基づき、個別サービスの質の向上や職員がやりがいを持って働ける職場づくり等を目指し、輝かしい1年になるよう取り組んでまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

次長 赤石 純悦

拓光園居宅支援事業所 新春餅つき会 —生活介護・児童デイサービス・日中一時支援事業所—

新年明けましておめでとうございます。

1月11日（水）は鏡開きの日ですが、私たち拓光園居宅支援事業所では体育館で餅つき会を開催しました。

この日は学校の冬休み期間中という事もあり、『児童デイサービスセンター』を利用している子供たちも行事に参加することができました。普段なかなか見ることの無い杵と臼を目の前にし、蒸したもち米が体育館に登場すると、参加したメンバー全員が目を輝かせ、いざ餅つきの始まりです！

利用者の皆さんは職員が杵を力いっぱい振りおろす度に「よいしょ！よいしょ！」と大きな掛け声をかけ、熱い声援を送っていました。職員の手本が終わると、次は利用者の皆さんの番です。やってみたい方を募ると次々に手が上がり、子供たちから順番に杵を手に取りお餅をつきました。杵はものすごく重く、振り上げるのが大変でしたが、皆さん楽しんで参加していました。お餅は、1口サイズにちぎり、「きなこ」「あんこ」「醤油」の3つの味付けをしました。中でも、「あんこ」を使ったおしるこは大人気で、利用者の皆さんは2回3回とおかわりをする程でした。

大雪の降る中での餅つき会でしたが、皆さんの熱気と笑顔が溢れる楽しい会となりました。餅つき会を始め、今年も皆さんと楽しい行事をたくさん企画していきたいと思っています。今年も拓光園居宅支援事業所をどうぞよろしくお願い致します。

児童デイサービス事業所 西村和真



<行事予定>

- 2月
- 9日 弘前公園 雪灯籠祭り見学
- 3月
- 17日 ぼたもち作り

<編集後記>

明けましておめでとうございます。新年を迎えてから本格的に雪が降り、拓光園の周りは厚い雪で覆われていますが、利用者の皆さんは元気いっぱいです。冬の寒さに負けない利用者様の姿をこれからも伝えていきたいと思っています。

今年も拓光園をよろしく願い致します。
新聞係一同

第34回 拓光園祭

平成28年11月26日、第34回拓光園祭を開催しました。当日は天候にも恵まれ、利用者の皆さんも笑顔で当日を迎える事ができました。

午前の部は新着任職員によるマジックショー、利用者さんによる「ふるさと」の合唱発表、ご家族の方々によるダンスなどの発表、そして今千里様によるステージショーが行われました。ゲストの今千里様によるステージはどの曲もテンポが良く、利用者の方々も自然と踊りたくなるような選曲で、ステージは大変盛り上がりしました。



午後の部は茶道コーナーや即売コーナーをはじめとした企画ブースの時間です。作品展示コーナーでは、利用者の皆様さんの日常生活を録画したビデオ上映や書道作品の展示を行いました。書道では人気投票を行い、利用者さんの部では岩淵晃さん、前田芳子さん、長尾真由美さん。職員の間では木村めぐみ総合施設長が最も多い結果となりました。それぞれの想いを形にした作品となり、どの作品も個性的な仕上がりとなっていました。



保護者の皆様をはじめ、地域や来賓、ボランティアの方々のご協力のおかげで、今回の拓光園祭も無事に成功を収めることができました。心より感謝を申し上げます。来年の拓光園祭もより良いものになるよう、職員一同努力していきたいと思っております。

生活支援員 中村真由美

短期訓練

12月23日（金）から12月25日（日）の三日間、拓光園にて冬の短期訓練が行われました。今回は児童6名、学生ボランティア19名の参加となりました。

1日目、児童の皆さんからは緊張している様子が見受けられましたが、学生ボランティアのお兄さん、お姉さんと一緒に作業やレクリエーションをする事で、次第に表情が和やかになり笑顔がたくさん見られるようになりました。最終日の発表会では、工作の時間に作ったサンタの帽子をかぶり、ご家族の前で「キミに100パーセント」のダンスを元気に披露する事ができました。発表を終えた皆さんの表情は達成感に満ちていました。児童の皆さんからは「楽しかった。また参加したい。」等の声が聞かれており、職員の間でも嬉しく思いました。

短期訓練が行われた3日間が、参加していただいた児童の皆様にとってかけがえのない時間になる事を職員一同、願っております。次回の夏の短期訓練もぜひ参加して下さい。

生活支援員 船木恭佳



拓光園のXmas

12月23日、日頃からお世話になっている『マックスバリュ岩木店』様からお菓子と果物のプレゼントを頂きました。利用者の皆様も毎年楽しみにしており、当日は食堂ホールに多くの利用者さんが集まりプレゼントを今か今かと待ちわびていました。プレゼントしてもらったお菓子等はそれぞれユニットへ持ち帰り、美味しく頂きました。ありがとうございました。

生活支援員 千葉健太郎

